

道（1万2774人）、大阪府（1万2048人）と
続いた。

（芦戸部六美）

特養の待機者 36.6万人

16年 要件厳格化 16万人減

「軽度でも入居」特例知らず…

「隠れ待機者」多数か

特別養護老人ホーム（特養）への入居を希望して入れなかつた待機者は、2016年4月時点で約36万6千人だったと厚生労働省が27日発表した。前回調査した13年10月時点より16万人近く減った。比較的軽度な「要介護2以下」の高齢者が原則として入居できなくなつたことが影響した。

特養は全国に約9500

力所あり、約57万人が暮らす。有料老人ホームやサー

ビス付き高齢者住宅と比べて利用料がおおむね安いた

め希望者が多く、前回調査

で待機者は約52万4千人に

上つた。そこで15年4月か

ら入居要件を厳格化。認知

症や家族による虐待など在

宅生活が難しい場合以外、

要介護1、2の高齢者は特

養に入れないようになつた。

その結果、要介護1、2の

人からの申し込みが減り、

待機者は約7万1千人。減

少した約16万人のうち約11

万人を占めた。1人で二つ

の施設を申し込むと、これ

まで2人と数えていたのを

1人とするなど集計方法を

変えた影響もある。

政府は要介護3以上の特養待機者のうち、在宅の高齢者を20年代初頭までにゼロにする目標を掲げているが、今回の調査では約12万

3/28
朝日

3千人いた。

要介護3以上の待機者が
最も多いのは東京都で2万
（1万4983人）、北海

4815人。神奈川県（1
万6691人）、兵庫県
（1万4983人）、北海

軽い要介護1、2で大きく
減つた。こうした人は20
15年4月以降、原則として
特養に入居できなくなつ
た。認知症などの場合には
入居できる特例もあるが、
実際は要件を満たしても申
し込まない「隠れ待機者」
も多いとみられる。

東京都内のケアマネジャー
妻は「要介護3以上でな
ければ入れない」と思い、
申し込んでいたが、そ

は、「要介護3以上でな
ければ入れない」と思い、
申し込んでいたが、そ

6年待ちも

横浜市内に住む男性（64）
は、若年認知症で要介護5

の妻（64）を入れようと、6
月、特養から「順番が近く
なってきた」と連絡があつ
た。だが当時、妻は誤嚥性
肺炎を繰り返しており、特
養に入居できる状態にはな
かった。その後は療養病床
に移つて、今も入居待ちが
続く。（松川希実・及川穂子）

の女性（61）が昨年末に担
当した認知症の男性（91）
は、要介護2で頻繁に徘徊
の症状があった。妻（88）が
自宅で介護していたが、徘徊
の心配から妻の疲労も限
界に達していた。

妻は「要介護3以上でな
ければ入れない」と思い、
申し込んでいたが、そ

か」とみている。

特例は利用者に知られてお
らず、申し込まずに詰めて
いる人も多いのではない
か」とみている。

妻が認知症専門の精神科
病院に入っていた昨年7
月、特養から「順番が近く
なってきた」と連絡があつ
た。だが当時、妻は誤嚥性
肺炎を繰り返しており、特
養に入居できる状態にはな
かった。その後は療養病床
に移つて、今も入居待ちが
続く。（松川希実・及川穂子）

て説明。その後、申し込み
をしたが、入居が決まらない
いうちに妻が転倒して入院
してしまつた。男性は、ど
りあえず郊外の有料老人ホ
ームに入った。

このケアマネは「老若介
護は緊密度は高いはずだ。
この女性（61）が昨年末に担
当した認知症の男性（91）
は、要介護2で頻繁に徘徊
の症状があった。妻（88）が
自宅で介護していたが、徘徊
の心配から妻の疲労も限
界に達していた。

妻は「要介護3以上でな
ければ入れない」と思い、
申し込んでいたが、そ

か」とみている。

特例は利用者に知られてお
らず、申し込まずに詰めて
いる人も多いのではない
か」とみている。

妻が認知症専門の精神科
病院に入っていた昨年7
月、特養から「順番が近く
なってきた」と連絡があつ
た。だが当時、妻は誤嚥性
肺炎を繰り返しており、特
養に入居できる状態にはな
かった。その後は療養病床
に移つて、今も入居待ちが
続く。（松川希実・及川穂子）